



■活動日：2016年12月10日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 9名

■活動内容

- ・今回は、竹林沿いの荒れた遊歩道の整備が目的でしたが、竹林に隣接する木に巻き付いた蔦の処理、記念樹ゾーンと多目的広場の仕切りの竹柵の付け替え、過去のフクロウの巣箱の処理に加え、古くなってきたテーブルの天板や木杭の確保、ウェブカメラによるフクロウの観察体制の完成まで、予定以上の成果を上げることが出来ました。
- ・最後に、仮伏せしているシイタケの椀木を確認しましたが、大半の椀木が、切口まで菌糸が回っていますから、そろそろ本伏せする時期に来ています。
- ・参加頂いた9名の会員の皆さん、本当にお疲れ様でした。
- ・これで2016年の活動は、24日の有志によるフクロウの営巣確認を除き、すべて終了しました。
- ・来年は、予定通り1月14日（土）から、竹林の新たな竹柵づくりをメインに取り組みますが、作業は手数勝負です。  
別途ご案内しますので、屠蘇気分を吹き飛ばすためにも、多くの皆さんの参加を期待しています。
- ・それでは皆さん、忘年会はほどほどに、健康にはくれぐれも留意頂き、良いお年をお迎えください。

■竹林沿いの荒れた遊歩道の整備 before/after 鋸と鉋の手作業に加え、刈払機と大鎌が参戦。

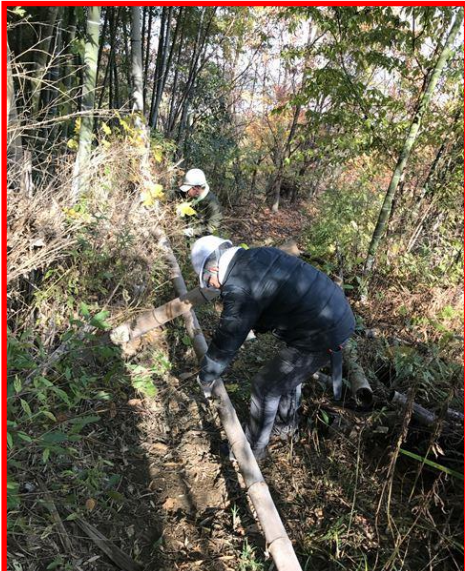
before

写真の左側がチーム神於山が管理している竹林です。



先ず刈払機で雑草を一掃。

柵を越えて出て来ている竹は除伐。



崩れてしまっている策は手作業で除去。

大鎌も参戦。

After (蘇った遊歩道)

写真の左側がチーム神於山が管理している竹林です。



スッキリした上段

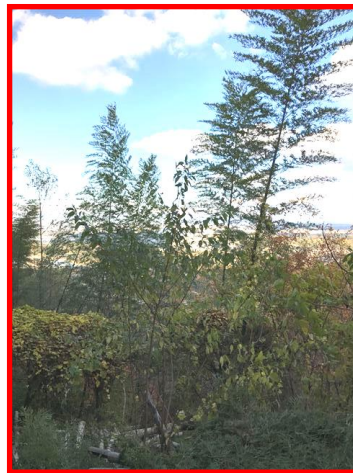
中段 (使える柵は残し、柵前の竹は除伐)

下段 (白い枯竹も除伐)



《信じられない光景—1》

- ・古い竹柵の枯れた竹柱の中に芽吹き、そのまま成長した竹。
- ・枯れた竹の中で節を突き破って育っていました。
- ・白い部分が枯れた竹の中に納まっていた部分です。
- ・改めて竹の成長力・生命力の凄さを感じます。



《信じられない光景—2》

- ・写真は、遊歩道を挟んだ反対側の、クヌギ・コナラ・山桜が植林された斜面ですが、竹が生え始めています。
- ・近さからみて、チーム神於山が管理している竹が遊歩道の下をくぐり、伸びたものと思われます。
- ・管理地外ですから岸和田市に報告し、善処してもらうことにします。

■竹林に隣接する木に巻き付いた藁の処理

岡森さんが奮戦。北浦さんがサポート。



完全に切り離す為、上下に2ヶ所を切断。

切断完了

切取った藁を抱えドヤ顔の岡森さん



- ・以前シャープの森に来られた森林組合の方から、藁は、木に被さり、日光を遮断して木の生長を阻害するので、見かけたら大小に拘わらず根元の部分で切って欲しいとの要望を頂きました。
- ・左の写真は切取った藁の断面です。
- ・藁にも木と同じく年輪があるとすると、樹齢ならぬ藁齢は約10年で、シャープの森とほぼ同い年になります。

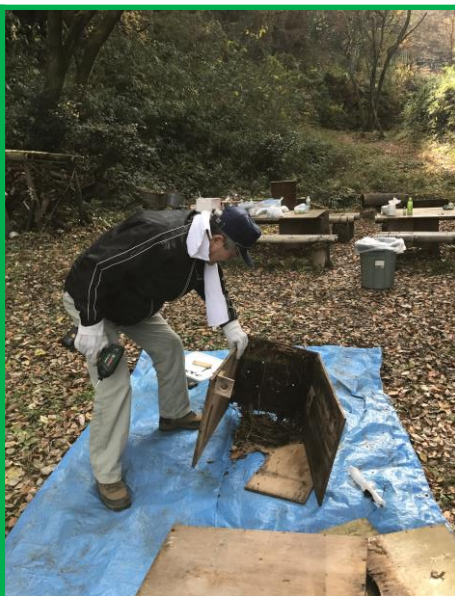
■ 記念樹ゾーンと多目的広場の仕切りの竹柵の付け替え 皆で竹を運び、金井さんと田平さんが付替え。



杭を打ち直し、シノを使って番線で竹と杭を固定。

こだわりのジョイント部分

■ 過去のフクロウの巣箱の処理 ボッシュのインパクトドライバーを手に、小林さんが大活躍。



ボッシュのドライバーの威力は抜群で、解体は次々に進みました。

- ボッシュは世界でトップシェアを誇るドイツの自動車部品と電動工具のメーカーです。
- 小林さんが手に入れたインパクトドライバーは、これから色々出番がありますが、充電バッテリーも3個手に入ったようですから期待大です。

■ 古くなったテーブルの天板や、貴重な長尺の木杭を確保 当日、香遠代表が手配してくれました。



- コンパネは、工事現場の型枠用のもので、ウレタン塗装済ですからテーブルには打ってつけです。
- 置いてみたところ、今度はベンチの古さが目立つようになったので、ベンチも作り替えようという声が出ました。
- 手に入った杭は長尺で人気商品ですから、何かあってはいけないので倉庫に片づけました。
- 香遠代表の交友の広さには脱帽です。

## ■ウェブカメラによるフクロウの観察体制の完成+アルファ



①ヒノキの疎林に架けた巣箱



②営巣した木の隣に架けた巣箱



- 上の2組の写真は、フクロウの巣箱に仕掛けたウェブカメラの映像で、それぞれ上が巣箱上部のカメラ、下が側面のカメラの映像です。
- ②の営巣した木の隣に架けた巣箱の側面のカメラの映像が少し傾いていますが、アングルは全て狙い通りで、どちらに営巣しても良い記録できそうです。
- 左の写真は、仮伏せしているシイタケの楯木の映像で、切口の白い斑点は、シイタケの菌糸です。
- 菌駒は側面に穴を開けて打ち込んでいますから、切口に菌糸が現れるということは、菌糸が楯木内に充満しつつある証拠で良い兆候です。

## ■活動頂いたメンバーの方々

大車輪の活動、お疲れ様でした。



- 取り替えた竹柵を前にして1枚。
- 香遠代表は、同日を含め2日連続で開催される札幌勤務時代の同期会「札チヨン会」の幹事をされているとかで中座されたので、記念の集合写真は8名になりました。
- 中々スケジュールが合わず、欠席が続いていた森田さん（前列左から二人目）が久しぶりに参加してくれたのは嬉しいことでした。
- スケジュールが合えば、また是非ご参加ください。

以上